

## 長野県安曇野市で小水力発電所を運転開始

### 一 地域・自治体との密接なパートナーシップを構築し、 自社発電事業として3箇所目の発電所を建設 一

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、長野県安曇野市において、飛島建設株式会社（東京都港区、代表取締役社長：乗京正弘）と共同で建設を進めていた三郷黒沢川小水力発電所の運転を令和3年4月から開始しました。

オリエンタルコンサルタンツと飛島建設の両社は、岐阜県中津川市内で2箇所の小水力発電所を建設し運転を開始しており、当発電所は自社発電事業として3箇所目の発電所となります。また本事業では、地域との密接なパートナーシップを構築し、地域のかんがい用設備を改修して小水力発電設備に活用することで、地域が将来負担する水路の維持管理費を軽減するとともに、発電施設の維持管理作業の地域委託による新たな雇用創出と収入向上など地域課題解決に貢献しています。

現在、山形県米沢市においても、同様に発電所の建設を進めており、今後中小水力をはじめとする地域課題の解決に資する再生可能エネルギー事業を一層推進していきます。

#### ■事業概要

当発電所は、地域の既存かんがい用水設備を一部更新・共用し、かんがい用水を発電用水として使用しています。当発電事業で新設する水圧管路が地域の新しいかんがい用水路となるため、かんがい設備の再生の役割も担っています。この計画は岐阜県中津川市内の2箇所の小水力発電所と同じであり、地域の皆様のご賛同・ご支援をいただき建設・運転開始にいたっています。

所在地：長野県安曇野市三郷小倉 2609-2 ほか

事業主体：飛島建設(株)・(株)オリエンタルコンサルタンツの  
共同事業

運転期間：2021年4月～2041年3月予定  
(FIT適用期間と同じ)

最大出力：193.7kW

年間発電量：113万 kWh

(一般家庭の350世帯数分に相当)



発電所の位置

出典：電子地形図 25000(国土地理院)を加工して作成

■ 主要設備の仕様と状況

設備名	仕様
水車	横軸クロスフロー水車 有効落差 93.6m、最大使用水量 0.276m <sup>3</sup> /s
発電機	三相横軸誘導発電機 最大出力 193.7kW
関連付属設備	入口弁、配電盤、屋外系統連系設備 無停電電源装置、水槽水位検出器 簡易型遠方監視制御装置
土木建築設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取水設備、導水路: 既存のかんがい設備を改修整備</li> <li>・沈砂池: 14.3m × 2.9m × 1.2m</li> <li>・ヘッドタンク: RC 造 4.5m × 2.6m × 2.9m</li> <li>・水圧管路: Φ450 FRPM 管+DIP 管 延長 1,337m</li> <li>・発電所建屋: S 造 50.22m<sup>2</sup></li> </ul>



(取水口)



(沈砂池)



(除塵機)



(水車・発電機)



(発電所建屋)



(事業説明看板)

<本資料に関するお問い合わせ先>  
 株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
 TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011  
 URL: <https://www.oriconsul.com/>  
 統括本部 宮内、丸山